

J A 自己改革推進レポートについて

令和6年1月24日
J A 鳥取県中央会

1. J A 自己改革実践状況

(1) J A 鳥取いなばの取り組み

①第7回 子ども農業教室 白ネギ収穫体験、閉校式

J A 鳥取いなばは12月16日、鳥取市の同J A本店で令和5年度「子ども農業教室」の最後の講座として白ネギ収穫体験を開催した。

今年度の講座では、地域の生産者やJ A営農指導員が講師となり、全7回のカリキュラムを実施。ミニトマトの栽培や水稻「ハクトモチ」、梨「王秋」、「こおげ花御所柿」などの収穫、ラッキョウ選果場などの見学をした。

講座後には、閉校式を開き、地域農業に触れ「食と農」の素晴らしさや大切さを学んだ受講生30人に記念品を授与した。



②J A グリーン愛菜館 歳末ふれあい大感謝祭

J A 鳥取いなば愛菜館運営協議会は12月16日、鳥取市のJ A グリーン千代水愛菜館店頭で歳末ふれあい大感謝祭を開催した。感謝祭は、消費者への1年間の感謝の気持ちを込めて毎年開催。今回は4年ぶりに餅つき大会を実施し、心温まるサービスに店頭には長蛇の列ができた。会場ではもち米60キログラムを杵つき餅にして、甘い「ぜんざい」で振る舞ったほか、会員が丹精込めて栽培した野菜をふんだんに入れた「豚汁」限定200食を提供し、多くの来場者が味わった。



③「鳥取茸王」「とっとり115」出荷目合わせ会

J A鳥取いなば営農指導センターは12月18日、鳥取市の日本きのこセンター菌茸研究所でブランドシイタケ「鳥取茸王」「とっとり115」の出荷目合わせ会を開催した。生産者や研究所職員、J Aなど約20人が参加。出荷要領・規格を確認し、現物査定で仕上がりを確認した。かさの直径5センチ以上は「とっとり115」、直径8センチ以上、厚さ2.5センチ以上の規格は「鳥取茸王」と名付け、ブランド化する。



以上